

医療と福祉が一体となった第一歩



地域密着型特別養護老人ホーム 「鶴のまどい」が完成する

鶴田で長生きできてもうれたら嬉しい
もう感じてもうれたら嬉しい

鶴田町社会福祉協議会（会長・中野堅司町長）では、旧鶴田町立中央病院跡地に地域密着型特別養護老人ホーム「鶴のまどい」を完成させ、11月7日（木）、竣工祭を行いました。竣工祭では、中野会長ら関係者約60人が出席し新たな施設の完成を祝いました。

施設名の「鶴のまどい」は「鶴が集まる」という意味で付けられ、入居者が住まいと思えるような環境や小人数のケア体制を整え、24時間安心した暮らしを保障することにより、「一人ひとりの生活環境や意思を尊重し、今までの暮らしが継続できるようなサポート」を目指しています。

施設は延べ床面積約1,849平方㍍、鉄骨造り一部2階建てとなっています。内部は全室個室で、「松・リンゴ・丹頂」の3つのユニットから成る特別養護老人ホーム（定員29人）と「鶴の舞橋」のユニットから成る短期入所生活介護施設（定員7人）で構成され、各ユニットの中央には共同生活室が配置されています。また、訪問介護・訪問看護事業所や福祉用具貸与事業所、患者等輸送サービス事業所も併設しています。

施設は2月に開所した鶴田診療所に隣接しているため、入居者は充実した医療を受けることができます。

これらの設備により地域の保健医療と福祉サービスを連携させることで、介護が必要な高齢者の方へきめ細やかな福祉サービスを提供できるようになりました。

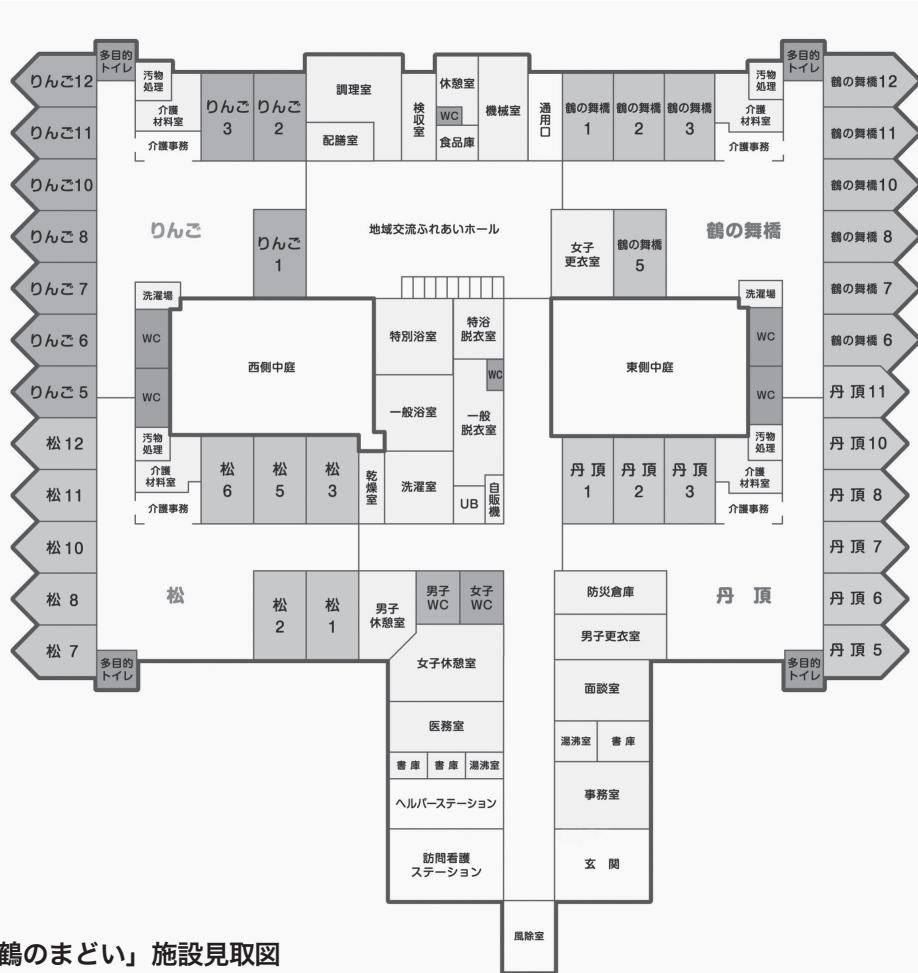
中野会長は「鶴田のおじいちゃん、おばあちゃんが老後を楽しく過ごすことができるまちづくりを目指していた。『鶴田で長生きできてよかったです』と感じてもらえたなら嬉しい。医療と福祉が一体になった第一歩が踏み出せた」と話しました。



△竣工祝賀会では職員の紹介が行われました

△竣工祭では建物の安全と繁栄を祈願しました

「鶴のまどい」が完成する



地域密着型特別養護老人ホーム「鶴のまどい」概要

1 所在地

鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾34
TEL 0173(23)2355
FAX 0173(26)6223

2 建築概要

床面積 1849.39 m²
鉄骨造一部2階建て 耐火構造

3 施設機能

特別養護老人ホーム 29室
短期入所生活介護施設 7室
※全室個室
訪問介護・訪問看護事業所、福祉用具貸与事業所、患者等輸送サービス事業所を併設

4 施設の主な特徴

温泉熱を給湯および暖房に利用し、温泉の排熱で通路や駐車場を融雪。LED照明器具や人感センサー等を設置することで省エネルギー化を図っています。



△共同生活室



△浴室（一般浴室）



△居室



△医務室